

# かけはし

2019  
Vol. 83  
November



7.24  
七夕グローバルサマーセミナー



7.27~28  
七夕ホームステイ



8.29  
南アフリカ料理セミナー



9.28~29  
フレンドシップフェスティバル



10.20  
交通安全教室



10.10~17  
トレビゾ市民交流

# 世界をまなぼう！七夕グローバルサマーセミナー

一宮市役所 本庁舎 7.24

「世界をまなぼう」をテーマに、七夕まつり前日に国際交流協会主催のサマーセミナーが開催されました。

## カサンドラのニュージーランド(NZ)一般常識クイズ!

NZ国旗の星の数はいくつ?や南島に棲む生意気で知性のある鳥は?など、4択で答えてもらい、最多正解者にはいちみんキーホルダーを、参加者には協会のシールをプレゼントしていました。

## 「西高」小学生英語教室



国際理解コース2年生による、小学生を対象にした、手作りの教材を使ったの学習プログラムです。6人ほどのグループが、旅行時の道案内やクレープ作り、犯人は誰だ、神経衰弱ゲームなど、英語を使っての遊びを楽しみました。セミナーの始まる30分前から学生さん同士で練習し合った成果は十分出ていましたよ。

## 「アンニョン!韓国」では

キムチの国でも子供は辛いので苦手。でも、中学から給食で出て来るので、慣れて行きます。学校は3月始業の2学期制。

## ファシ138の「国際理解ワークショップ」

「南アフリカのペンギンを救おう」がテーマで、南アフリカのペンギンが少なくなっているのを、キーワードを使って参加者が意見を出し合っていました。

## ラグビー観戦の楽しみ方

ラグビーボールの受け渡しの体験もありました。楕円のボールって思い通りにいかないなあ～!



## 「虹の国 南アフリカ」の話

元JICA協力隊員の佐藤真さんが生活していた南アフリカ。あまり馴染みのない国ですが、近代都市で道路の整備など、基幹システムもしっかりしている。気候も温暖。ただ、貧しい地域もありますが、学生は学問に集中していたそうです。公用語は11と多い。



## 世界を旅する写真展



## クラフトコーナー



毛糸で作ったキウイとヒツジ

## フェアトレードって? 甘いチョコの苦い話

開発途上国の原料や製品を適正な価格で購入する公平・公正な貿易のことです。

各講座への参加スタンプを集めてチョコをもらいました。



## 劇団バナナの日英バイリンガルシアター「ふしぎのくにのバナナ」

大人から子供まで一緒に楽しむ、参加型のシアター。「パッ、バナナ、パッ、パッ、バナナ」のリズムでダンスの練習が始まる。アリス、猿のウララ、ウサギと、ハートの女王が出演。1人が英語で話しかけると、それに日本語で答える。聞いていると自然にストーリーが入って来る。子供はすぐにとりこになっていきます。一宮では初めての公演で、これからの活躍が楽しみです。



(佐野&みかん)

# 南アフリカ料理にトライ

向山公民館 8.29

今年、ラグビーワールドカップが開かれ、一宮市は南アフリカ共和国代表チームの公認チームキャンプ地になりました。日本から遥か彼方の南アフリカはオランダ系、マレー系、インド系、英国系等々の多民族で構成され、その多様性から「虹の国」とよばれているそうです。そんな未知の南アフリカの文化を知るため、料理親善大使の石川邦彦先生を迎えて、南アフリカの家庭料理をつくる教室が催され、15名が参加しました。

料理教室に入ると、色とりどりの野菜とスパイスの香りがいきなり飛び込んできて、まるで異国のレストランに入ったようです。



最初につくるのは野菜料理の“チャカラカ”です。ナス、ズッキーニ、赤黄パプリカ、玉ねぎ、

トマト缶といったたっぷり野菜と、インゲン豆、ひよこ豆なども入っているのが特徴です。フライパンで煮ながら、カレー粉やターメリック、黒コショウなどで味を付けていきます。初めてつくる料理の味付けが分からず、「先生！これでいいか味を見てくださ〜い」と、各テーブルから声が飛んで、石川先生は大忙しです。みなさん全体的にスパイスの量が控え目だったようで、

先生は「少し強めくらいのカレー味に仕上げるのがコツですよ」と、各テーブルの味を調えながら見て回っていました。

次の“ポポティー”は、牛肉と羊のひき肉料理です。みじん切りの玉ねぎ、おろしニンニク、ざく切りリンゴに細かく切ったアーモンド、レーズンなどを炒め、カレー味に仕上げた後、とき卵をかけてオーブンで少し焦げ目を付けたら出来上がりです。最後にスイーツの“メルクタルト”をつくり、今日の料理全品が完成です。



カラフルでスパシーな南アフリカ料理を試食して、参加者から「とてもおいしい」「お家でも作ってみたい」などの感想が聞かれ、とても好評でした。(ドリアン)

# 「七夕ホームステイ」受け入れ体験

7.27~28



7月下旬の2日間、初めてホームステイの受け入れを経験しました。ゲストは岐阜大学に通うインドネシア出身のファイサル・アルシャッドさんです。初日は

今伊勢公民館で対面式があり、お互い少し照れながらも会話をしたりお菓子を食ったりして楽しみました。

その日はまさかの台風到来だったので、イオンモールで過ごしました。スタンプラリーをしたり、買い物をしたりと、家族の日常という感じでした。家に帰るころには子ども達もすっかり打ち解けて、絵本を読んでもらったり膝の上に座ったり、一緒にスマホで写真を撮ったりと楽しそうでした。

翌日は、ファイサルさんが好物という天丼を食べに行きました。「美味しい！」と言って天丼を食べていました。その後、皆で七夕まつりに

行きました。和太鼓の演奏を聴いたり、かき氷を食べたり、お化け屋敷に入ったりして、日本の祭りをたくさん知ってもらうことができました。「どうだった？」と聞くと、「楽しかった!!」と満面の笑みで答えてくれました。

ファイサルさんとお別れした後、子ども達は「明日はどの国の人が来るの?」と言っていたぐらい、楽しい2日間だったようです。それから外国の国旗に興味を持ったり、ファイサルさんの母国の話をしたりと、子どもにとっても良い経験になりました！これからもファイサルさんとの繋がりを大切にしていきたいなあと感じます。

(大野)



# 世界をあそぼう！フレンドシップフェスティバル2019

9月28日(土曜日)

イオンモール木曾川 ノースコート

各国の文化に親しむステージや、国際理解につながる体験コーナーなど、一宮にしながら世界とつながるイベントが開催されました。



竹内有希 二胡演奏会  
二胡とフルートのコラボ。



シャイアン・キショールによる音のヨガ  
インドのフルート「バンスリ」によるインド音楽



ラグビーボール型ビッグ貯金箱  
紙の板を組み合わせ、  
側面には国旗を貼って完成。



フラメンコとサクソホン・クラリネット・カホンの特別ステージ  
今回限りの演奏者3人とフラメンコの切れのある踊りです。



アンデス音楽と和装でハープ  
コラボ曲は涙そうそう。



ケエナ・ハナ・フラ・カズコ フラダンスショー



バナナの莖で紙すき体験  
バナナを通して環境問題を学びました。

# 見て、聞いて、体験して、世界を楽しむ2days!

9月29日(日曜日)



フェアトレード商品の紹介ブースでは  
美味しいチョコレートのプレゼント



手作りアクセサリーを作っちゃおう!  
今度の花びらには何色を塗ろうかな...



チェブラーシカのキャラクターショー  
世界中の人気者がイオンモールにやってきた。



中東 / アラブの民族衣装が映えます  
Love Belly Dance の華麗なパフォーマンス



アレックスのマンダリンは  
いつ聴いても気持ち良いですね～



クイマリちゃん和英語 de 遊ぼう!  
みんな～大きな声出してね～

ちびっ子たちも民族楽器 (ジャンベ) で  
飛び入り参加しました。



南アフリカの伝統音楽をライブで聴きました  
ンコシ・アフリカによる迫力の熱演です。

(佐野 & you都市)

# 新任イタリア人国際交流員のあいさつ

## ヴィニエラ・アレッシオ

私は1992年にイタリア共和国のミランで生まれ、ロンバルディア州のダルフォ・ボアーリオテルメという小さい町で育ちました。幼い時から、父が誇りにしていた日本の根付のコレクションを見ていて、その形や使い方が気になっていました。

中学生の頃にはアニメや漫画の多彩な世界に引き込まれていて、「日本はどのような国かな。日本人はどのような人かな。」などと、日本の文化や言語についてもっと知りたくて仕方なくなりました。

大学はベネチアの、カ・フォスカリ大学に進学することにしました。東日本大震災の一年後、初めて日本を訪れました。私も何かをしたいという思いで災害ボランティアとして活躍することにしました。初めて来日した大学2年生の時は日本語力がまったく足りない状態でしたが、ジェスチャーや笑顔でコミュニケーションをはかりました。家族や自分の家などを失った人たちと折り紙などで共に時間を過ごしていましたが、あの人たちの

謙虚さや心の強さに感動しました。「私もそのような素敵な人になれたらいいな」と思って、前よりも日本への愛着が強くなりました。

その後、名古屋の南山大学や京都の立命館大学でも日本語や社会のことを学びました。

私はイタリアにも日本にも同じぐらいの愛着を抱いていて、日本で働くことになって、夢が叶ったと思います。一宮市の国際交流員として両国間の友好関係を深めていきたいと思えます。

皆さま、町で私を見かけたら、是非声をかけてください。今までもらったやさしさなど、皆さまに返せたらと思います。

これからの3年間、よろしく願いいたします。



# お別れのメッセージ 前イタリア人国際交流員・離任あいさつ

## グリッロ・アレッサンドラ

みなさん、国際交流員としての3年がもう終わりました。

この3年間にやったことがとても多くて、私も少しビックリしました。

トレビゾ市との交流は毎年どんどん深まっていて、トレビゾ市を訪問した市民グループも毎年いましたし、今年はトレビゾ市から、これからの学生交流のための下見をしにいらっしゃった先生もいましたし、いつも意味深い交流ができました。これからも交流が続いて、もっと関係が深まると期待しています。

そして、セミナーを通じてイタリア文化を教えることもできて、みんなが楽しそうに参加して、少しでもイタリアのことを理解してもらえたと思うと嬉しいです。

また、イタリア語講座も毎年やりました。イタリア語は複雑で例外が多いのに、参加者のみなさんは一生懸命勉強しました。いつかイタリアへの旅行で、習ったイタリア語を使えると良いですね。

あと、一宮市の小学校、特別支援学校、一宮西高校を訪問し、イタリアのことや文化を紹介しながら楽しく交流して、非常に良い経験でした。

3年間、様々なことがありましたが、全ては一宮のみなさんのおかげで楽しかったです。特に国際交流協会のボランティアさん、生涯学習課のみなさん、一宮でできた友達のおかげで、みなさんがいつもサポートしてくれたから、私は成長できたと思います。

一宮での経験と知り合った方々を忘れずに、これからも頑張っていこうと思っています！

この3年間本当にお世話になりました。心から感謝いたします。





# おとなりさん



フランスのボルドー生まれのトーマ・ヴェルニュさんは、7年前、オーストラリアのワーキングホリディで日本人の奥様と知り合いました。その後フランスで結婚、4年間暮らした後、昨年、奥様の実家がある一宮市にやってきました。

日本に来る前は、フランス南東部にあるタン・レルミタージュという人口6,000人ほどの町に住んでいたそうです。そこはフランスで最も歴史のあるワインの町の一つで、また高級チョコレートで有名なヴァローナ社もあり、気候のよい時期には大勢の観光客でにぎわうそうです。

タン・レルミタージュでトーマさんはワインの会社に勤めていました。もともと大学を卒業してからワインの専門学校にも通うなど、ワインに関する仕事をしたいと思っていたトーマさん、日本に来てからも、日本語学校へ通うよりも先に、ワインを扱

うバルで働き始め、日本のお客さんのワインの好みやお客さんへのワインの勧め方を日々勉強しているそうです。



日本人とフランス人で、ワインの好みも違うようですが、日本のお店でトーマさんがフランスと違うなあと思ったのは、お店の人が「いらっしゃいませ」と声をかけても、黙って入って来るお客さんが多いこととお客さんから完璧なサービスを求められることだそうです。フランスではお客さんも必ず「ボンジュール」と言って入って来るし、もっと対等でフレンドリーな感じなのだとか。お国柄なんでしょうね。

一宮についてお聞きしたら、人のいない岐阜の山や海とかが好きなので、どこに行

くにも便利な一宮が気に入っているそうです。このままずっと一宮に住んで、ゆくゆくはワインを売る会社を作りたいとのことでした。(日野)

## iia information

### 日本語の教え方セミナー

#### 「日本語教育入門編」

外国人に初めて日本語を教える方向けの基礎知識をお話します！

日時：12月6日(金) 午後2時～午後4時

#### 「日本語教育実践編」

外国人に日本語を教えた経験のある方向けの、スキルアップ講座です。

日時：12月13日(金) 午後2時～午後4時

※要申込み

\*協会事業を支える国際交流基金への寄付を募集しています。

また、一宮市の国際交流の中心となって活躍いただく親善ボランティアも随時募集しています。詳しくはiia事務局までお問い合わせください。

### 国際交流ふれあい運動会

地域に住む外国人の方々と一緒に、初心者でも気軽にできるソフトバレーボールを通じて交流しましょう！

日時：1月19日(日) 午後1時～午後4時

会場：一宮市総合体育館

※要申込み

### iia Facebookページ

イベントのお知らせや、外国人のみなさんに役立つ情報を多言語で発信しています。Multilingual posts about event notices and helpful information for foreign residents.



# 地球あっちこっち

## Bula.Namaskaaram.Hello. こんにちは!!

JICA海外協力隊(自動車整備)隊員  
村上 正治

私はJICA海外協力隊、2019年度1次隊員としてフィジーに派遣されました。

2019年の7月末から21年7月末まで、フィジーの首都スバにある、フィジー国立大学の自動車電装科の一員として、ハイブリッドカーや電気自動車システムの教育支援、教員育成を行うことになっています。

フィジーは原住民(イタウケイ)が話すフィジー語と、移民系が話すフィジーヒンディー語が存在し、お互いが話すときは英語を使います。そのため小学校の途中から授業が英語で行われるらしく、ほとんどの人は英語を話すことができます。Bulaがフィジー語、Namaskaaramがフィジーヒンディー語ですが、通常はBulaがHelloです(笑)。私の職場はイタウケイが多い職場なので基本フィジー語で会話をしています。

フィジーでは、2015年頃から国策である環境保全を目的としてハイブリッドカーの税金を免除した影響で、爆発的にハイブリッドカー、特にトヨタプリウスが増えました。フィジー国際空港から初めて出たときに、あまりのプリウスの多さにびっくりしました。本当に日本より多くのプリウスが走っています。ホンダのフィットハイブリッドも多く走っていて、道路を見る限りヤシの木が並んでいる以外は日本と同じ光景です。しかしそのハイブリッドカーを整備することのできる人材が非常に不足しており、異常を示す警告灯を付けたまま走って



ハイブリッドカーの整備実習

いる車が多くあります。タクシーもほとんどプリウスですが、半分ぐらいの車がトラブルを抱えています。私はハイブリッドカーの教育を国内で唯一行っているフィジー国立大学の一員として、ハイブリッドカーや電気系統の整備・故障診断ができる人材を一人でも多く育てたいと思っています。故障が減れば廃棄される車両の数も少なくなり、廃棄処分が難しいこの国の環境を守ることができますし、修理ができれば自動車整備という仕事で収入を確保できる人を増やすことができます。

私が住んでいる首都スバは大洋州の中では一番の都会で、一宮市と同じくらい栄えています。多くの車と多くの人でごった返しており、私はいつもほぼ満員のバスに乗って毎日通勤しています。でも満員のバスでもイライラしている人は全くいません。先を争って乗り込む人なんていないですし、目が合ったら見ず知らずの人でもお互い大体笑顔です。

私の職場であるフィジー国立大学でもみんなのんびりしています。朝出勤するとみんなと必ず握手をしてモーニングティーをしながらおしゃべりします。ランチではみんなが持ち寄ったものをみんなで食べるシェアの文化があります。帰りはいつも大学職員の方が送ってくれます。“ありがとう”と言うと、ファミリーだから当たり前だろって言ってくれます。同僚達はいつも私に幸せかどうか聞いてきます。もちろん幸せだよって答えるととても嬉しそうです。フィジーは幸せかどうかをととても大切にしている文化で、私は幸せな時間を過ごすことができます。

もちろん、すぐ近くにリゾートがたくさんあるのがフィジーの魅力の一つです。先日もハイブリッドカーのシンポジウムに出席しましたが、とても快適なリゾートホテルでいい時間を過ごすことができました。ナタンドラというサーフィンで人気のスポットもあり、シュノーケリングをしたり、サーフィンをしたりして楽しみました。昨年からは成田空港からの直行便が再開されました。幸せを大切にす



フィジー国立大学のキャンパス

るのんびりしたこのフィジーに是非足を運んでみてください。

### 編集後記

日本国内旅行に、はまっている。きっかけは、高齢の父が旅行に行きたい、知床に行きたい、縄文遺跡を見たいと言いだしたことだった。父の希望に合うツアーは見つからず、私が運転手兼添乗員になり案内することになった。そして、1年間に3カ所、知床(北海道)、吉野ヶ里遺跡(佐賀県)、尖石遺跡(長野県)に両親と行った。走行距離は、合計約2500km、なかなかハードな旅だったが、日本の魅力に気が付いていなかった。いいね!!の連続、どこも素晴らしく、運転が楽しいのだ。次は、三内丸山遺跡(青森県)へ行く、楽しみだ。親孝行もでき、本当に幸せ者である。長生きしてね。感謝。(ゆご)

発行 一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市生涯学習課内)

ご意見・ご感想お待ちしております 【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】

当協会に関する情報はウェブサイト・Facebookページもご覧ください

【WEB:<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/> Facebook:<https://www.facebook.com/iia138>】

\*この「かけはし」は、協会ボランティアにより取材・編集されています。

みなさんも国際交流協会親善ボランティアに参加しませんか?お気軽にお問い合わせください。